

## 第4章

# 地域別緑のプラン

---



# 第4章 地域別緑のプラン

## ■ 地域別緑のプランについて

地域別緑のプランは、今後の地域単位の緑のまちづくりの指針となるもので、地域別に緑の保全、創出及び育成に向けた主要な取り組みの方針を示します。

### ■ 地域別緑のプランの主旨

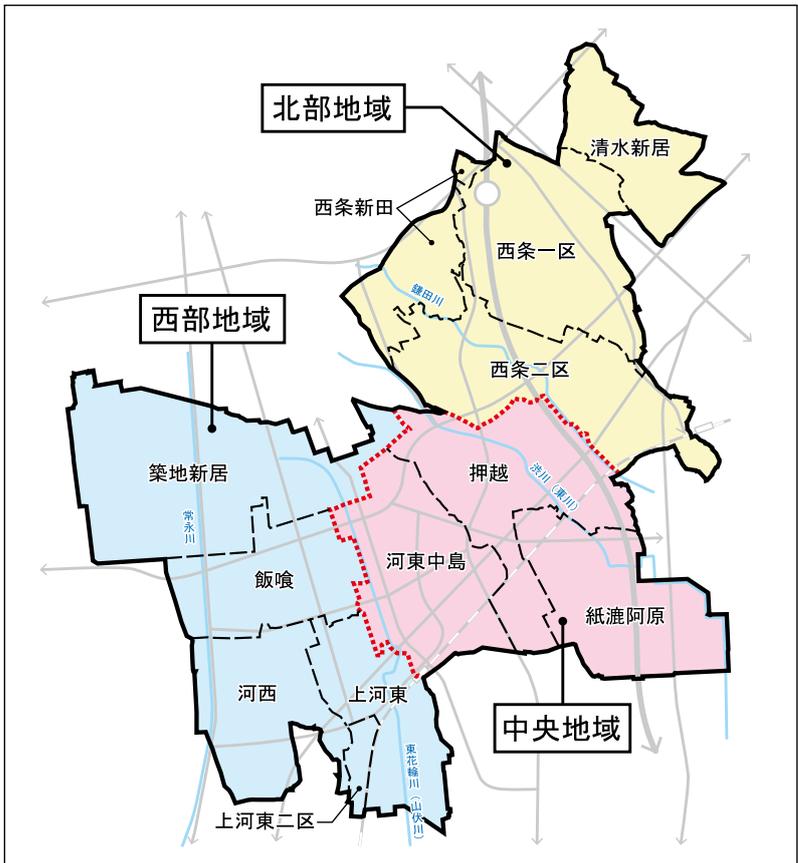
- 町全体の緑の保全・創造・育成計画の考え方及び緑のまちづくり方針を、地域の特性に応じた、より細やかな身近な緑のまちづくり方針として展開します。
- 協働による緑のまちづくりの展開を図るため、地域の住民意向を反映した、わかりやすい緑の将来像やまちづくり方針を示します。(昭和町住民ワークショップからの提言、昭和町都市計画マスタープラン・緑の基本計画の策定に伴うアンケート調査結果等の反映)

### ■ 地域区分と地域別緑のプランの構成

地域区分にあたっては、生活圏域のまとまりや土地利用のまとまりなどを考慮した「昭和町都市計画マスタープラン地域別まちづくり方針」に即し、右の3つの地域に区分します。

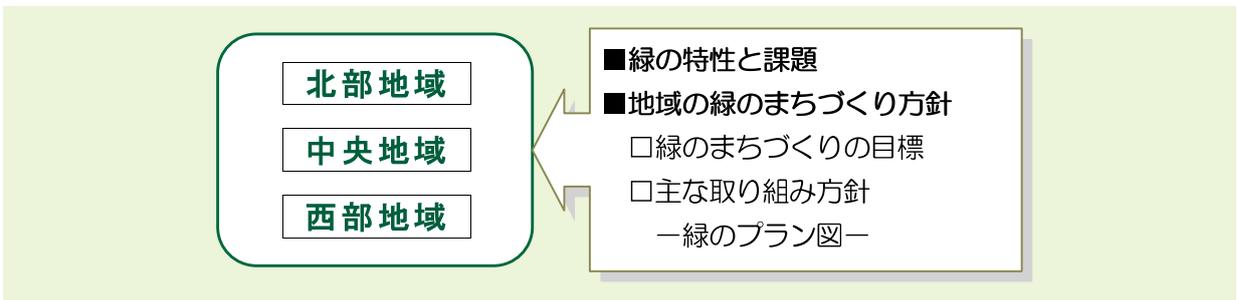
また、地域別緑のプランは、3つの地域ごとに下記に示す構成で整理します。

### ■ 地域区分



・山伏川のアジサイ

### ■ 地域別緑のプランの構成



# 1. 北部地域

## (1) 緑の特性と課題

### 【地域概要と緑の特性】

- ・地域は、県都甲府市に隣接する町の北東部に位置し、平坦な地形を鎌田川や道川等の河川や主要幹線道路等が縦断し、西側一部の市街化調整区域の農業集落地を除き、地域の大半は都市化が進行する住宅市街地となっている。
- ・中央自動車道や甲府バイパスが地域を縦断し、甲府昭和 IC や JR 身延線国母駅が立地する広域交通の結節点及び要衝地となっており、大規模集客施設が立地する利便性の高い地域である。甲府昭和 IC 周辺は山梨県都市計画マスタープランにおいて県の都市機能補完地区に位置づけられている。
- ・地域の西側には農地が残っているが、その他では IC 周辺の開発や土地区画整理事業による計画的な都市基盤整備が進み、住宅市街地が形成されている。また、神屋地区は地区計画の指定により良好な住宅地が形成されている。
- ・都市公園は西条・彩の広場が整備され、その他沖田公園等の公園・広場が整備されているが、人口が急速に増加した地域でもあり、基幹的な都市公園の整備と既存公園の機能充実が求められている。
- ・主な緑の資源としては、鎌田川、道川等の河川や水辺、甲府市水道局スポーツ施設の松林、北方水源地等の身近な自然環境、風土伝承館杉浦醫院等の観光資源、義清神社や若宮八幡神社等の社寺林、ゲンジボタル発生地であった鎌田川の水辺環境、みのぶ道等の古道や楠地蔵等の歴史資源、山なみの良好な眺望景観などがあげられる。

### 【緑の課題】

- 人口増加にある地域において、快適な生活環境の向上と地域交流に寄与する基幹的な都市公園の整備が必要
- 防災等を考慮した既存公園の機能強化と身近な公園・広場の整備・充実、市街地の緑のスポットの確保が必要
- 都市化が進行する市街地周辺の良好な環境の維持・向上に向けた適切な土地利用誘導、鎌田川等の水辺空間と周辺緑地資源、ホテルの育成環境など、身近な自然環境の維持・保全が必要
- 広域交通の玄関口となる地区の魅力ある都市景観の創出、良好な住宅市街地のまちなみ景観の形成が必要
- 都市基盤整備が進行する市街地の計画的な緑化と地域特性に応じた緑化の促進が必要

## (2) 緑のまちづくり方針

### ■緑のまちづくりの目標

**多様な交流の場となる公園づくりと  
都市と身近な自然が共生する緑のまちづくりを進めます**

### ■主な取り組み方針

#### ■地域の核となる、住民が集い・交流を育む都市公園の整備を推進します

- 鎌田川の改修と併せ、水辺空間との調和や、農業集落地における身近な憩いの場、快適な生活環境の形成に寄与する（仮称）西条公園の整備を推進します。
- 公会堂建設予定地に併設し、子育て支援・高齢社会に対応した健康で快適な生活環境の形成に寄与する（仮称）西条二区公園の整備を推進します。

#### ■多目的利用しやすい身近な公園・広場や緑のオープンスペースを充実します

- 西条・彩の広場、甲府市水道局スポーツ施設のグラウンドや松林は、レクリエーションや防災機能の強化、イベント等の多目的活用など、利用ニーズに応じた機能強化と緑の拠点の魅力の向上を図ります。
- 人口が集中し基幹的な公園が不足する清水新居地区、西条二区地区等は、開発行為に伴う公園の拡充整備や道路・河川沿いの空地や低未利用地を活用し、まちの庭づくりの促進や、地区の防災性の向上、子どもの遊び場づくりなど、緑のオープンスペースの充実に努めます。

#### ■都市と共生する良好な緑の環境の維持と向上に努めます

- 都市と良好な自然環境との共生に向け、まとまりある農用地の計画的な維持に努める一方、市街地及び周辺に点在する耕作放棄地や低未利用地等の農地の集約化、土地利用転換等の適切な有効活用を検討します。
- 河川改修に併せた鎌田川の親水空間の確保、公園や遊歩道等との一体的な整備に努めるとともに、河川の水辺や水路、農地、義清神社等の社叢林、屋敷林等の身近な自然環境の維持・保全に努めます。
- 鎌田川等のホテルの育成活動や生息域の拡大など「ゲンジボタル復活支援事業」を促進します。

#### ■多彩な緑の資源を活かし、魅力ある都市景観とまちなみ景観を創出します

- 風土伝承館杉浦醫院や義清神社周辺、みのぶ道、鎌田川のゲンジボタル発祥の歴史など、地域の歴史を

物語る緑のふるさと文化拠点や良好な眺望景観等は、拠点周辺の修景整備、緑地・スポット整備、歩行者ルートの整備等を検討し、魅力ある都市景観の創出に資する緑の資源として積極的な活用を図ります。

- 四季折々の花の風景の育成、花壇・緑地整備等のまちの庭づくりを促進し、活気ある市街地景観と水と緑のうらおいある景観が共存する良好なまちなみ景観の形成を図ります。

■市街地緑化のモデルとなる計画的な緑化を促進します

- 広域交通の玄関口、交通結節点である甲府昭和 IC 周辺については、幹線道路や公共施設周辺の緑化、街路樹の整備、花壇・緑地の整備など、地区計画や緑地協定等との連携を図り、秩序ある市街地緑化やモデルとなる計画的な緑化を促進します。
- (仮称) 西条公園・風土伝承館杉浦醫院周辺は、鎌田川の水辺空間や公園、文化施設と連携した修景整備、交流の振興、都市化の進展に伴う地区防災性の向上などに向け、地域環境と調和した緑化を促進します。
- (仮称) 西条二区公園周辺は、社寺林の緑の保全、みのぶ道等の歴史資源の活用、地区防災性の向上などに向け、隣接する公共施設整備と一体的な魅力ある緑化を促進します。
- 土地区画整理事業が行われた地区は、地区計画及び緑地協定等による計画的な都市緑化を促進します。住宅市街地は、生け垣化やオープンガーデンの促進等による緑豊かなまちなみの創出に努めます。

■市街地にうらおいを与える系統的な緑のネットワークを形成します

- 水と緑の骨格軸及び水辺環境活用軸となる鎌田川、道川等の河川空間や緑のシンボル軸となる道路空間、水路や古道等を活用し、連続性のある緑化、修景整備やサイン整備、ホテルが飛び交う水辺環境や緑と花の風景の活用、まちの庭づくりの促進、フットパスや散歩路づくりなどを進め、多様な拠点と主要公園、点在する緑の資源や地域の住民活動を有機的に結び、市街地にうらおいを与え魅力を高める系統的な緑のネットワークを形成します。

■北部地域一緑のプラン図



## 2. 中央地域

### (1) 緑の特性と課題

#### 【地域概要と緑の特性】

- ・地域は、本町の中央部に位置し、鎌田川や東花輪川（山伏川）、今川等の河川が縦断し、その間の微高地に旧来からの集落が立地している。東側の紙漉阿原地区の市街化区域を除き、地域の大半は市街化調整区域となっている。
- ・地域の中心は、役場など公共施設が集積する本町の行政機能の中核的地区であり、東側の市街化区域は土地区画整理事業や工業団地等の都市基盤整備が行われている。地域の北側を昭和バイパスが横断するものの、密集した既存集落地には狭隘道路も多く、他の2地域に比べると生活基盤整備が立ち遅れている。
- ・地域南側に一団のまとまった優良農地が残されているが、市街地や集落地周辺に点在する農地においては、耕作放棄地の増加が懸念されている。
- ・都市公園は、押原公園、国母公園、阿原1号公園が整備され、その他湧水の里沼公園等が整備されている。しかし、地域の公園は不足しており、良好な地域環境を活かした基幹的な都市公園の整備と既存公園の機能充実、集落地における身近に憩う公園・広場やオープンスペースの確保が求められている。
- ・主な緑の資源としては、鎌田川や東花輪川（山伏川）等の河川の水辺、今川の桜並木・キショウブ、山伏川の桜並木・アジサイ等の花の風景、本妙寺・天白神社等の社寺林、沼天神、みのぶ道、旧鎌倉街道等の古道、ゲンジボタル発生地や旧蛭見橋等の歴史資源、山なみの眺望景観などがあげられる。

#### 【緑の課題】

- 既存集落地の豊かな水辺環境や郷土景観の活用など、地域特性を活かした基幹的な都市公園の整備が必要
- 防災等を考慮した既存公園の機能強化、集落地域の身近な公園・広場や緑のオープンスペースの確保が必要
- 一団の優良農地の保全と農地と共生する良好な住環境の維持、山伏川の桜並木など、身近な自然環境の保全と活用が必要
- 拠点周辺の率先した景観形成や、旧来の郷土景観を守り・活かす中央地域らしい景観まちづくりが必要
- 緑と花のまちの拠点の積極的な緑化の推進と、既存集落地や市街地の特性を考慮した緑化を進めることが必要

### (2) 緑のまちづくり方針

#### ■緑のまちづくりの目標

**水辺環境と郷土の景観を活かし  
まちの拠点を創出する先導的な緑のまちづくりを進めます**

#### ■主な取り組み方針

##### ■郷土景観を表象し、水と緑が調和した都市公園の整備を推進します

- 東花輪川（山伏川）の改修や河川管理用道路の整備と併せて、桜やアジサイと水辺空間が調和し、隣接する西部地域の商業空間と連携して賑わいと交流を創出する（仮称）東花輪川河川公園の整備を推進します。併せて、山伏川の桜並木の保全と親水機能の向上、桜並木沿いの農道を活用した遊歩道整備、眺望スポットの確保などを検討します。

##### ■既存公園の利活用、多様な緑の資源を活用したまちの庭づくりを促進します

- 押原公園、阿原1号公園、国母公園、湧水の里沼公園等の既存公園は、防災機能やイベント開催等のレクリエーション機能の強化など、利用ニーズに応じた機能強化と緑の拠点の魅力の向上を図ります。
- 押原公園は、基幹的な都市公園として、防災機能の強化を推進します。
- 集落地においては、街区公園等の拡充に努めるとともに、まとまりある樹林地、社寺林、道路・河川沿いの空地・耕作放棄地等を活用した花壇・緑地整備を促進し、地域の防災性の向上と緑のオープンスペースとなるまちの庭づくりを促進します。

##### ■優良農地の維持・保全と、花とホタルを育むシンボリックな水辺空間を創出します

- 一団の優良農地の積極的な保全と都市近郊型農業の振興、農地の多面的機能の有効活用を促進します。
- 集落地に点在する耕作放棄地や低未利用地等については、農地の集約化、土地利用転換や計画的な宅地化の誘導、耕作放棄地を活用した緑のオープンスペースの確保等による適切な有効活用を検討します。
- 河川改修等に併せた鎌田川や東花輪川（山伏川）の親水空間の確保、公園や遊歩道等との一体的な整備に努め、レクリエーションの場の創出と交流・地域振興への活用を図ります。
- 自然環境保全事業や桜保全事業による今川のキショウブ、山伏川の桜並木の維持・保全を推進します。

● 河川、水路、農地、社寺林、屋敷林等の身近な自然環境の維持・保全に努めるとともに、湧水の里沼公園周辺でのホタルの育成活動など「ゲンジボタル復活支援事業」を促進します。また、主要拠点を結び渋川の沿川緑化を進め、水と緑の骨格軸の形成を図ります。

■ **地域特性を活かし、郷土景観の継承と先導的な景観まちづくりを推進します**

● 地域及び町の景観形成を牽引する緑と花のまちの拠点周辺は、先導的な景観まちづくりを推進します。  
● 河川水系とうるおいある水辺環境、桜並木やキショウブ等の水辺の花の風景、ホタルの育成、田園の広がり  
と集落景観、みのふ道や日鎌倉街道、富士山等の良好な眺望景観は、郷土の景観形成と交流・地域振興に資  
する重要な緑の資源として、地域景観の形成やフットパス・散歩路づくり等への積極的な活用を図ります。

■ **良好な環境と調和した風格あるシンボリックな緑化を促進します**

● 公共施設が集積する緑と花のまちの拠点周辺は、連続性のある街路樹や緑道整備、幹線道路や公共施設  
周辺の緑化、まちの庭づくりの充実、シンボル植栽、屋敷林や樹林地の保全、地区計画の活用など、緑  
化に関する啓発や先導的なモデルとなるよう、風格あるシンボリックな緑化を促進します。  
● (仮称) 東花輪川河川公園周辺は、河川沿いの空地や低未利用地等を活用し、水辺や周辺景観と調和し  
た緑化、桜並木の維持・保全、遊歩道整備やフットパスづくりなど、彩りと魅力ある緑化を推進します。  
● 土地区画整理事業が行われた地区は、地区計画等による計画的な都市緑化を促進します。既存集落地は、  
屋敷林や社寺林など身近な緑の保全に努めるとともに、適正な土地利用による農地と共生した良好な集  
落環境の向上、生け垣化やオープンガーデンの促進等による緑豊かなまちなみの維持・向上に努めます。

■ **四季の彩りを楽しみ、交流を高める水と緑が融合したネットワークを形成します**

● 水と緑の骨格軸及び水辺環境活用軸となる東花輪川(山伏川)、今川等の河川空間や桜並木、緑のシンボ  
リック軸となる道路空間、水路や古道、里道等を活用し、連続性のある緑化、修景整備やサイン整備、農地  
の緑と花の風景の活用、まちの庭づくりの促進、フットパスやふるさとの散歩路づくりなどを進め、多  
様な拠点と主要公園、点在する緑の資源や地域の住民活動を有機的に結び、四季の彩りを楽しみ交流を  
高める水と緑が融合したネットワークを形成します。

■ **中央地域一緑のプラン図**



【緑の拠点・水と緑の軸】

- 公園のリエーション拠点
- 緑と花のまちの拠点
- 緑のふるさと文化拠点
- その他の緑の拠点
- ⇄ 水と緑の骨格軸
- ⇄ 緑のシンボル軸
- ⇄ 水と緑と花の回廊
- ⇄ 水辺環境活用軸

【緑のゾーン】

- 田園環境保全ゾーン
- 田園居住ゾーン
- 市街地ゾーン

【自然環境・景観の保全と活用】

- 農用地
- ホタル育成地
- 緑の文化財
- 主要社寺林
- 古道

【公園・緑地の創出】

- 都市公園(既設)
- 都市公園(計画)
- その他の公園
- 主な花壇・緑地等
- 広域避難地
- 避難地

【都市緑化】

- 緑化推進地区
- 花の風景
- 施設の緑化推進
  - 主要公共施設
  - 学校
  - 工業団地等

## 3. 西部地域

### (1) 緑の特性と課題

#### 【地域概要と緑の特性】

- ・地域は、町西側の釜無川に隣接し、平坦な地形に常永川や東花輪川（山伏川）等の河川が縦断している。北側の築地新居地区の一部の市街化調整区域を除き、地域の大半は都市化が進行する住宅市街地となっている。
- ・地域を（主）甲斐中央線が縦断、昭和バイパス等が横断し、JR 身延線常永駅が立地する交通利便性の高い地域であり、工業団地や大規模商業施設の立地など、都市機能が集約したコンパクトにまとまった市街地が形成されている。また、大規模商業施設周辺は山梨県都市計画マスタープランにおいて都市機能補完地区に位置づけられている。
- ・JR 身延線北側と常永川西側に一団のまとまった優良農地が残されているが、市街地や集落地周辺に点在する農地においては耕作放棄地の増加が懸念されている。また、地域は土地区画整理事業による計画的な都市基盤整備が行われ、常永地区と鍛冶新居地区の2地区に地区計画が指定されており、良好な住宅地が形成されている。
- ・都市公園は常永ゆめ広場が整備され、その他常永公園、釜無工業団地公園等の公園・広場が整備されているが、都市や賑わい空間にうおいを与える基幹的な都市公園の整備と既存公園の機能充実が求められている。
- ・主な緑の資源としては、常永川、東花輪川（山伏川）等の河川、地下水・湧水等の豊富な水資源、山伏川の桜並木・アジサイ、常永川のコスモス街道等の四季の花の風景、河西諏訪神社の桜並木や妙福寺等の社寺林、霞堤、みのぶ道等の古道、築地新道の碑等の歴史資源、山なみの良好な眺望景観などがあげられる。

#### 【緑の課題】

- 東花輪川(山伏川)の水辺空間と、隣接する賑わい空間を活用した交流を育む基幹的な都市公園の整備が必要
- 防災等を考慮した既存公園の機能強化と身近な公園・広場の整備・充実、市街地の緑のスポットの確保が必要
- 一団の優良農地の保全、農地と共生する良好な市街地環境の維持、東花輪川(山伏川)等の水辺環境や地下水・湧水等の水資源、桜並木など良好な自然環境の保全と活用が必要
- 豊かな水辺環境と水に関する地域資源、花の風景、田園景観等が融合した個性ある都市景観の創出が必要
- 交流を育む緑の育成と地域特性に応じた緑化の促進、緑あふれる良好な市街地・集落地の形成が必要

### (2) 緑のまちづくり方針

#### ■緑のまちづくりの目標

**水を核とした良好な資源を活かし  
彩りと賑わい・交流を育む緑のまちづくりを進めます**

#### ■主な取り組み方針

##### ■水辺環境を活かした賑わいと交流を育む都市公園の整備を推進します

- 東花輪川（山伏川）の河川改修や河川管理用道路の整備と併せ、隣接する商業空間との一体的な修景整備に努め、桜やアジサイと水辺空間が調和し、交流と賑わいを創出する（仮称）東花輪川河川公園の整備を推進します。併せて、山伏川の桜並木の保全と親水機能の向上、桜並木沿いの農道を活用した遊歩道整備、眺望スポットの確保などを検討します。

##### ■既存の公園・広場の魅力を高め、緑に親しむスポットづくりを促進します

- 常永ゆめ広場、常永公園、釜無工業団地公園等の既存公園は、防災機能や農業体験等のレクリエーション機能の強化など、利用ニーズに応じた機能強化と緑の拠点の魅力を向上を図ります。
- 開発行為に伴う公園の拡充整備、道路・河川沿いの空地・低未利用地等を活用したまちの庭づくりを促進するとともに、地域交流を担う緑のスポットづくりを促進します。

##### ■豊富な水資源、優良農地、公園など、水と緑豊かな地域環境の維持と活用を図ります

- 一団の優良農地の計画的な保全と都市近郊型農業の振興、農地の多面的機能の有効活用を図ります。
- 市街地及び周辺に点在する耕作放棄地や低未利用地等については、農地の集約化や土地利用転換等の適切な土地利用誘導を図ります。
- 河川改修等に併せた東花輪川（山伏川）の親水空間の確保と桜並木の維持・保全、公園や遊歩道等との一体的な環境整備に努め、レクリエーションの場の創出と地域交流・活性化への活用を図ります。
- 河川の水辺環境や地下水源の積極的な維持・保全とともに、身近な自然資源である水辺の緑や諏訪神社等の社叢林、屋敷林等の維持・保全に努め、環境学習の場や住民の憩いの場としての活用を検討します。

■ 水に培われた特色ある風景を活かし、個性ある都市景観を創出します

● 豊かな水のまちを表象する河川や水路、湧水・地下水等の水資源、桜並木やアジサイ、コスモス等の水辺の花の風景、広がりある田園風景、富士山等の良好な眺望景観、霞堤等の文化財やみのぶ道等の古道、地域の成り立ちや生業等の水に関わる生活文化の歴史など、本町の特色ある風景を活かすため、これらの保全と周辺を含めた修景整備、緑地・スポット整備、歩行者ルート整備等を検討します。また、水に培われた風景と都市的景観が融合した個性ある景観の創出を図ります。

● 地区各々の風景資産を活かしながら、都市と自然環境、歴史文化が共生した市街地景観の形成に努めます。

■ 賑わいと交流を育む市街地の効果的な緑化を促進します

● (仮称) 東花輪川河川公園周辺は、河川沿いの空地や低未利用地等を活用し、水辺や周辺景観と調和した緑化、桜並木の維持・保全、幹線道路や公共施設周辺の緑化、まちの庭づくりの充実、遊歩道整備やまちなかフットパスづくりなど、交流と賑わいを演出する魅力ある緑化を促進します。

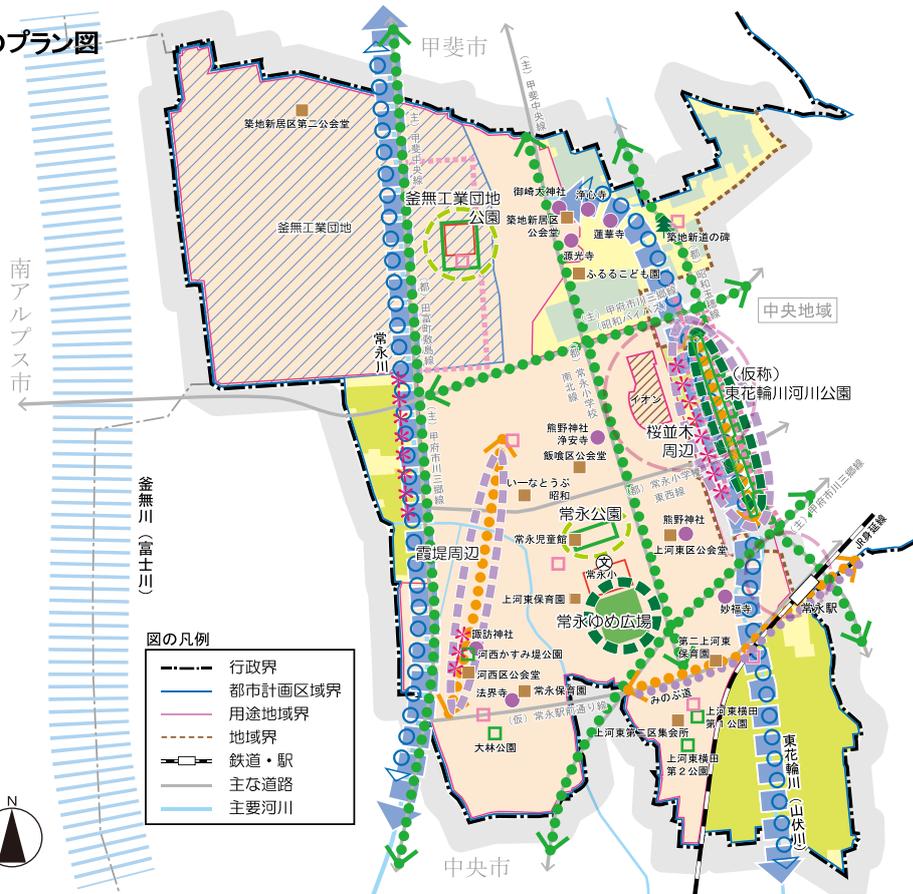
● 鉄道玄関口となる常永駅周辺は、花植えなど駅周辺の修景、街路樹の整備、鉄道敷周辺の低未利用地や道路境界部等を活用した花壇・緑地の整備など、地域の顔となる緑化を促進します。

● 土地区画整理事業が行われた地区は、地区計画や緑地協定等による計画的な都市緑化を促進します。住宅市街地は、生け垣化やオープンガーデンの促進等により、水と緑の豊かなまちなみの創出に努めます。また、既存集落地は、身近な緑の保全と緑豊かなまちなみの維持・向上に努めます。

■ 快適な都市環境と水と緑にふれあい親しむネットワークを形成します

● 水と緑の骨格軸及び水辺環境活用軸となる常永川、東花輪川(山伏川)等の河川空間や桜並木、緑のシンボル軸となる道路空間、水路や古道等を活用し、連続性のある緑化、修景整備やサイン整備、農地の緑と花の風景の活用、まちの庭づくりの促進、フットパスや散歩路づくりなどを進め、多様な拠点と主要公園、点在する緑の資源や地域の住民活動を有機的に結び、身近に水と緑に親しみ、快適な都市環境を創出する系統的な緑のネットワークを形成します。

■ 西部地域一緑のプラン図



【緑の拠点・水と緑の軸】

- 公園/グリーンゾーン拠点
- 緑のふるさと文化拠点
- その他の緑の拠点
- ⇄ 水と緑の骨格軸
- ⇄ 緑のシンボル軸
- ⇄ 水と緑と花の回廊
- ⇄ 水辺環境活用軸

【緑のゾーン】

- 田園環境保全ゾーン
- 田園居住ゾーン
- 市街地ゾーン

【自然環境・景観の保全と活用】

- 農用地
- 緑の文化財
- 主要社寺林
- 古道

【公園・緑地の創出】

- 都市公園(既設)
- 都市公園(計画)
- その他の公園
- 主な花壇・緑地等
- 避難地

【都市緑化】

- 緑化推進地区
- 花の風景
- 施設の緑化推進
- 主要公共施設
- 学校
- 大規模商業施設
- 工業団地等